

2.物理科学研究科

構造分子科学専攻

受入れ可能学生数:若干名

授業科目	単位	授業科目の内容	担当教員	開講学期	曜日・時限	教室
構造生体分子科学	2	様々な生命現象を分子レベルで概説する。特に、タンパク質立体構造と機能の基礎、生命のセントラルドグマであるDNAの複製、RNAへの転写、蛋白質への翻訳や、細胞内の恒常性維持、呼吸や光合成などの生体エネルギー変換、各種酵素による生体内物質代謝、および生体内情報伝達などについて、最新の研究トピックスを題材としながら、それらの分子機構について講述する。	青野 重利 古賀 信康	後期	備考参照	分子研 研究棟 301
基礎電子物性論	2	強相関電子材料の電子構造および諸物性に関する研究分野を紹介する。物性を議論する上で有益な光電子分光法や各種表面分析法による評価について、放射光を利用した先端的内容を解説する。	田中 清尚 小林 玄器	後期	備考参照	分子研 研究棟 301

【備考】

●開講日程について（予定）

「構造生体分子科学」：（集中講義）12/3, 4, 5, 6 10:00~12:00, 13:00~17:00

「基礎電子物性論」：（集中講義）12/16, 17, 18, 19 10:00~12:00, 13:00~17:00

●問い合わせ先

岡崎統合事務センター・国際研究協力課大学院係 TEL:0564-55-7139, MAIL:r7139@orion.ac.jp

機能分子科学専攻

受入れ可能学生数:若干名

授業科目	単位	授業科目の内容	担当教員	開講学期	曜日・時限	教室
機能物性科学	2	主として分子集合体を対象に、固体電子物性論および計測手法の基礎概論およびデバイス物理の基礎について講義を行う。	平本 昌宏 草本 哲郎	前期	備考参照	明大寺地区:分子研研究棟301 山手地区:山手4号館3階会議室
錯体触媒化学	2	分子の化学変換を司る「触媒」の構造、機能を理解することは、触媒開発に関わる基礎化学および化学プロセスへの応用の両視点から重要である。遷移金属錯体触媒、ルイス酸・ルイス塩基触媒、有機分子触媒を題材に、錯体触媒による化学反応特性を概説する。	魚住 泰広 榎山 儀恵	後期	備考参照	山手4号館3階会議室

【備考】

●開講日程について（予定）

「機能物性科学」 : (火曜日) 5/7, 14, 21, 28, 6/4, 11, 18 10:30~12:30, 13:30~15:30

「錯体触媒化学」 : (火曜日) 2020/1/7, 14, 21, 2/4, 12, 18, 25 (※2/12のみ水曜日) 10:30~12:30, 13:30~15:30

●問い合わせ先

岡崎統合事務センター・国際研究協力課大学院係 TEL:0564-55-7139, MAIL:r7139@orion.ac.jp